

平成26年度 第3回芦屋市市民参画協働推進会議 会議録

日 時	平成27年2月20日(金) 午後6時～午後7時40分
場 所	北館2階第3会議室
参 加 者	会 長 今川 晃 委 員 焦 従勉 瀬尾 多嘉子 中野 久美子 堀 晃二 菅沼 久美子 池内 清 欠 席 井上 芳恵
事 務 局	事務局 米原 登己子 企画部部长 福島 貴美 市民参画課課長 中畷 健太 市民参画課課長補佐 宮本 茂樹 市民参画課課員 佐藤 恵美 市民参画課課員
会議の公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分公開
傍 聴 者	0 人

1 会議次第

- (1) 開会
- (2) 第2次芦屋市市民参画協働推進計画(素案)へのパブリックコメントの結果について(資料1)
- (3) 第2次芦屋市市民参画協働推進計画(案)について(資料2)
- (4) 第2次芦屋市市民参画協働推進計画スケジュールについて(資料3)
- (5) 閉会

2 配布資料

- (1) 第3回芦屋市市民参画協働推進会議レジュメ
- (2) 「第2次芦屋市市民参画協働推進計画」(素案)への意見募集結果(資料1)
- (3) 第2次芦屋市市民参画協働推進計画案(資料2)
- (4) 平成26年度 第2次芦屋市市民参画協働推進計画スケジュール(資料3)

3 審議経過

<開会>

今川会長 ただいまから、第3回芦屋市市民参画協働推進会議を始めます。夜分にお集まりいただきありがとうございます。では、事務局から報告をお願いします。

出席の委員の紹介

事務局より会議運営上の取決め事項を次のとおり説明

- ・8名の委員のうち7名の委員が出席のため、本会は成立する。井上副会長は、欠席のご連絡をいただいている。
- ・会議録作成のため、録音を実施することについて了解いただきたい。

- ・「芦屋市附属機関等の設置に関する指針」により、委員名簿、会議録及び会議中の発言者名について公開となる。
- ・会議の内容は、発言者が特定できるように会議録を作成し、ホームページへ掲載する。

今川会長 議題に従って始めさせていただきます。第2次芦屋市市民参画協働推進計画(素案)へのパブリックコメントの結果について、事務局からの説明をお願いします。

中嶋課長補佐 「第2次芦屋市市民参画協働推進計画」(素案)への意見募集結果(資料1)について説明

今川会長 今の説明について何かご意見・ご質問があればお願いします。

堀会長 近所付き合いをしないのが芦屋に住む流儀とありますが、説明をお願いします。

中嶋課長補佐 昔の芦屋の方は、近所付き合いはお手伝いさんがしていて、地域のコミュニティとは一線をおいていたというご意見だと思います。市としては、昭和48年の芦屋市自治会連合会結成当初においても、40の自治会が街の美化等の地域活動を担うなど、協働でまちづくりを進めてきたと考えています。平成26年1月から2月には、市民2,000人を対象にした、参画と協働についての意識・行動調査を行い、回答いただいた方の約6割の方が市民活動や地域活動について参加したいという考えでしたので、今後も、市民参画・協働を推進していきたいと考えています。

菅沼委員 この意見が悪いということではなく、芦屋ならではの特性があると思います。阪神・淡路大震災から20年経過し、様々な形で隣人とのつながりが重要視されています。こうした意見にも理解を深めて、対応も一様ではなく、地域の特性に合わせたきめ細かな対応が必要だと思います。

今川会長 30年ほど前に芦屋を調べた時は、GHQが自治会を廃止した後も姿・形を変えて、コミュニティのつながりがあったと認識しています。

菅沼委員 このご意見を出された方が、近隣の方とつながりが少ないのではないかと思います。六麓荘のような大きなまちの特性を理解していくことも大事だと思います。

池内委員 私が思ったのは、この意見の方が違った捉え方をしていると思います。近所付き合いしながらやっぴいこうではなくて、市民全体で地域を盛り上げていこうだと思います。この方は、市全体のことなら参加していただけたらと思います。

- 菅沼委員 1 ページ目で、潮見集会所を除いたのはどうしてでしょうか。
- 中畠課長補佐 1 月から改修工事をしているため、パブリックコメントの資料を置いていませんでした。
- 瀬尾委員 30 年前ぐらいに芦屋に住みはじめた頃は、そういう考えの人はいらっしやいました。そういう時代もありましたが、芦屋全体が変革の時期を迎えているというところで、こういう意見もあるのではないかと思います。意見を頭から否定せずに、昔から芦屋を愛してきた人達の意見も受け止めてはと思います。
- 今川会長 では、次に進めさせていただきます。資料 2 の第 2 次芦屋市市民参画協働推進計画(案)について事務局から説明をお願いします。
- 中畠課長補佐 資料 2 第 2 次芦屋市市民参画協働推進計画(案)について説明
- 今川会長 何かご意見・ご質問がありましたらお願いします。本日、欠席された井上委員から意見を預かっています。ワークショップの実施概要について記載して欲しいということです。目次の下に、日時は記載されていますが、参加人数やワークショップの内容を記載してはどうでしょうか。
- 中畠課長補佐 目次の下に概要を追加させていただきます。
- 瀬尾委員 ワークショップの意見というのは、整理整頓されたのでしょうか。ワークショップで出された意見をそのまま載せられたなら、修正できないと思いますが。
- 中畠課長補佐 会話の一部を抜き出しているので補足等をして、ワークショップに参加されなかった人にもわかるようにしたいと思います。
- 瀬尾委員 例えば、5 ページのワークショップからの意見という所で、文章が長く感じました。それから(3) 未来のまちづくり人を育てるという所の、「市民参画・協働」に統一性がない。表紙の市民参画協働の間に「・」が入ってないですね。
- 中畠課長補佐 推進計画の名前には、「・」は入っていません。
- 瀬尾委員 これを生かすのであれば、「市民参画・協働やまちづくりに対する」の方がいいと思います。
- 菅沼委員 4 ページの 7 行目ですが、「豊かにあることを」でしょうか、それとも「豊かになる

ことを」でしょうか。

池内委員 機会が増えるという意味で、「豊かにあること」でいいと思います。「学習機会」ではなく、「学習の機会」の方がいいのではないのでしょうか。

福島課長 表現を検討させていただきます。

今川会長 推進計画は、長い間見られると思いますのでよろしくお願いします。

池内委員 2ページの基本理念の真ん中あたりで、「住みよいまち」ですが、ここに安心して住めるというのも住みよいまちの一部に入るのではないのでしょうか。安心して住めるというのは、住みよいまちの第一条件だと思います。

菅沼委員 「安心・安全なまち」という言葉で表したらいかがでしょうか。

福島課長 「住み続けたいくなる安心・安全なまちである」と修正します。

今川会長 他にございませんでしょうか。

池内委員 5ページの(3)未来のまちづくり人を育てるの所で、「市民参画・協働やまちづくりへの眼をやしないます」の表現を変えた方がいいと思います。

福島課長 先程、「学校教育において、市民参画・協働やまちづくりに対する」というご意見を頂いておりますので、「まちづくりに対する考え方をやしないます」に修正させていただきます。

池内委員 6ページの下の所で、地域活動の活性化に向けて、「ボランティアコーディネーター養成」や「地域リーダー講座の開催 など」がありますが、連絡方法をもう少し拡充することを入れた方がいいと思います。連携が力不足だと思います。

中畠課長補佐 団体同士の連携ということですか。

池内委員 団体同士、当然、個人が入る場合もありますが、広報やホームページや掲示板、もしくは他のもので考えるのか。連絡方法の拡充もどこかに入れた方がいいと思います。

中畠課長補佐 10ページの(3)ネットワークづくりと活動の場づくりを支えるという所で、「あしや市民活動センターの機能を充実します」とし、その中でも連携を充実していき

いと考えています。

今川会長 他にございませんでしょうか。8ページの修正した所で、「など」が多いと気になりました。

池内委員 8ページの(2)みんなが分かり合い、つながり合うの所で、「多くの人に身近なテーマである地域防災などの総合的な交流会の開催 など」の文章が分かりにくいと思います。

福島課長 「地域防災など多くの人にとって身近な問題をテーマにした総合的な交流会の開催」に修正させていただきます。

瀬尾委員 特に訂正ではないのですが、11ページの職員の方がどう関わるかという所で、今年の3月で定年をむかえる市の職員がいて、この地区での活動はできないけど、市内に住んでいる自分が身を置く地域で、市民活動に積極的に参加していきたいと言っていました。そういう気持ちの職員がたくさんいるとうれしく思います。

菅沼委員 11ページ中段で、「市民参画・協働」を、「市民参画・協働力」にした方がいいと思います。

中嶋課長補佐 「職員の市民参画・協働力をパワーアップ」ということで修正させていただきます。

今川会長 最後の成果目標についての質問ですが、数値に何か根拠はありますか。左側が現段階の数値ですね。

中嶋課長補佐 平成26年1月から2月の期間行ったアンケート調査の結果からの数値です。

今川会長 現段階の数値は、アンケート調査をした結果の数値であると記載したほうがいいと思います。そのアンケートは毎年実施されるのですか。

中嶋課長補佐 計画が5年ごとなので、5年後になると思います。

今川会長 基本目標4の、協働をした経験がある市職員の割合が40%なのはどうでしょうか。市職員なので50%ぐらいを期待したいと思います。

福島課長 なんとか達成しようと、頑張れる数値にしております。

池内委員 11ページの基本目標〈ささえる〉のところですが、(1)職員の市民参画・協働力

をパワーアップのところを、〈ささえる〉に合う表現にした方がいいと思います。

福島課長 基本目標の1から3が、市民の方に期待することです。この基本目標4だけが、市の職員に期待することになります。職員が自発的に市民活動・地域活動に取り組み、平たく言えば力をつけて、市民参画・協働の仕組みをささえていくという意味なのですが、促進とか育てるという表現は少し合わない気がします。

池内委員 「促進します」、「育てます」というのは、他人事みたいな感じがします。市として活力が感じとれない。取り組みを進めますというのはどうですか。

福島課長 「職員が自発的に市民活動・地域活動に取り組む意欲を高めます」に修正させていただきます。その下は、「市民参画・協働に積極的に取り組む職員を増やします」に修正してよろしいでしょうか。

菅沼委員 「市民参画・協働に積極的に取り組む職員の拡充に務めます」はどうですか。「増やします」は、あまりにも平たく言い過ぎだと思います。

今川会長 成果目標にも合うと思うので、「増やします」でいいと思います。

福島課長 「市民参画・協働に積極的に取り組む職員を増やします」にさせていただきます。ありがとうございます。

焦委員 12ページに、成果目標を制定し、推進計画の推進状況を定期的に点検し、評価しますとあります。先ほどの事務局の説明ですと、5年後にもう1回アンケートをするということですが、どのように評価するのでしょうか。5年後には、成果が達成しているの見込んでいるのでしょうか。

中嶋課長補佐 推進本部会議でも、もう少し高い目標数値をと言われたのですが、5年間の間に1回程度アンケート調査を検討させていただきます。

今川会長 それでは、中間調査しますという文言を入れた方がいいと思います。

福島課長 中間調査について、12ページ(成果目標)の中に入れさせていただきます。

中嶋課長補佐 資料2の25ページの委員名簿ですが、お名前や所属や専門・活動分野をご確認いただけますでしょうか。

焦委員 専門・活動分野の多文化共生センターのボランティア活動を削除していただけます

か。

中畠課長補佐 わかりました。

瀬尾委員 市民活動よりもボランティア活動だと思います。

中畠課長補佐 ボランティア活動に訂正させていただきます。

今川会長 他によろしいでしょうか。またお気づきの点があればお願いいたします。それでは、第2次芦屋市市民参画協働推進計画スケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

中畠課長補佐 資料3 第2次市民参画協働推進計画スケジュールについて説明

今川会長 ご意見・ご質問はございますか。

池内委員 パブリックコメントの説明で、資料1の4ページですが、市民の意見では、「自治意識」と書かれていて、市の考え方では「自助意識」になっています。

中畠課長補佐 修正します。ありがとうございます。

今川会長 最後になりますが、今日の会議でもけっこうですし、市民参画協働推進について、日頃思っていることでもけっこうなので、ご意見があればお願いします。

中野委員 資料2の8ページのワークショップからの意見で、地域のことは60代（退職後）からやればいいのかという意見は載せるのでしょうか。若い人が率先して活動している所もあるので、60代からでいいという意見を尊重していいのでしょうか。

福島課長 定年退職するまでは、時間がなくて、自治会活動などができなくて、定年退職してから自治会活動、社会貢献活動、ボランティア活動をやっていますという意見でした。一部を切り取って載せているので、誤解を与える表現になっているかと思いません。

中野委員 ワークショップに出される意見っていうのは、皆さんが賛同しているわけではないですよ。出た意見を全部取り上げていたら、ぐちゃぐちゃにならないでしょうか。

福島課長 ワークショップで出た意見は、最終合意していない意見もあります。おっしゃる通り若い方が、ここだけ読まれると意欲をそがれると思います。若い方は、時間があ

るときに参加してほしいという意見だったのですが。

菅沼委員 地域には、いろいろな世代の方が住んでいますので、年齢を区切ってしまうとそれから外れた方は、参加しにくい印象を持たれるのではないのでしょうか。現実的には、60才以上の方が活動しやすいところもありますが、誤解がないように、若い人でも意欲的な方もいると思いますので、年齢で区切らない方がいいのではないかと思います。

瀬尾委員 中野委員がおっしゃったところですが、削除することはできないのですか。60才以上とか若い人とか、誤解をあたえるので削除したほうがいいのでは。

福島課長 誤解を与える可能性があるので、削除させていただきます。

中畠課長補佐 資料1の4ページのパブリックコメントの意見に対する回答も誤解を与える可能性がありますので、削除させていただきます。

瀬尾委員 夏祭りなんかは若い人の体力がないとできない部分がありますので、その人がそれぞれ自分のできる事を、一生懸命やってくだされればいいと思います。

今川会長 他にご意見はございませんでしょうか。

池内委員 協力出来ることはしたいと思って、参加させてもらっていますが、市がどのような動きをしているのか、どういう問題があるのかを目にする機会が少なく、広報で知るしかない。もっと細かい情報を流す機会があればいいと思います。情報の共有化というのは、難しい問題だと思います。何かイベントをしようと、広報掲示板に貼ってもなかなか見てもらえない。広報紙かホームページ以外で、自治会の会報に入れてもらうとか情報を流す場を増やす必要があると思います。それと、各年代で、それぞれ意見を持っていて、それを反映していかないと市全体が盛り上がっていかないと。いろいろな意見を集める場を作ることが大事だと思います。若い人で夜しか参加できない人は、夜に活動するとか、メーリングリストを作りそこで討論する機会を設けるなどして、いろいろ意見を集める機会を持ったり、できるだけ集まって話しをする機会を設けることが大事だと思います。これから計画に沿って色々やっていくと思いますが、どんな方法でやっていくかも市民から意見を募集されたらいいのではないのでしょうか。

米原部長 市民公募委員の菅沼委員もご意見をお願いできますでしょうか。

菅沼委員 情報の発信や収集ということで、市の動きや市民活動などに関してお知りになりた

いことがあるようでしたら、市が行っている出前講座を利用することも一案だと思います。自治会もそうですが、20人以上で構成された地域団体でしたら出前講座を受講することができます。

中畠課長補佐 市民参画課もボランティアについてなど、出前講座を考えておりますのでご利用下さい。

菅沼委員 ホームページにもありますが、講座内容も市民の要望に柔軟に対応してくれるようです。市に対して批判的な方でも、ひざを突き合わせて話してみれば、理解しあえることがあるかもしれません。情報の発信や収集ということでは、こういう方法もありますので、利用されたらいいと思います。

米原部長 2年の任期が、本日で最後になります。市民公募委員のお二人にご意見をいただきましたが、他の方もなにかあればご意見をお願いします。

今川会長 よろしいでしょうか。では、今後の予定をお願いします。

中畠課長補佐 今後は、第2次芦屋市市民参画協働推進計画に基づいて、市民参画協働を引き続き推進していきますので、よろしくをお願いします。平成27年6月30日までが推進会議の委員の任期になっております。熱心なご議論いただきまして、ありがとうございました。市民委員の募集につきましては、4月15日号の広報あしやでご案内させていただき予定としております。

米原部長 よろしければ、是非応募をお願いします。

今川会長 それでは、これで閉会させていただきます。ありがとうございました。

以上